

# 自主的主体的に学習する子どもを育てる 教育実践の実証的研究

研究代表者 関 口 敏 美

## 緒 言

本研究では、「自ら学ぶ力」の基盤となる基礎学力を保障しつつ「自ら学ぶ力」を育む教育方法を解明するために、①京都市内の小学校（研究協力校：京都市立第三錦林小学校、山之内小学校、金閣小学校など）と②ユニークな授業・教育活動を行っている小学校（研究対象校：富山市立堀川小学校、福岡市立四箇田小学校）の協力を得て、フィールド調査により教育実践を調査・分析することを目的とした。

現在の学校教育に求められているのは、基礎学力をベースとして「自ら学ぶ力」を育てることである。「自ら学ぶ力」には、①ひとりで学ぶ個別学習と②集団で協働して学ぶ協働学習がある。そこで、第一に、引き続き連携活動を行っている京都市立第三錦林小学校、山之内小学校、金閣小学校におけるフィールド調査で教育実践の観察・参観を行ない、「自ら学ぶ力」を育てる教育方法の探究を課題とした。第二に、富山市立堀川小学校（11月・2月）・福岡市立四箇田小学校（3月）におけるフィールド調査でユニークな授業・教育活動の観察を通して、「自ら学ぶ力」を育む教育実践の探究を課題とした。

また2013年度より本学科に大学院（修士課程）が開設されたことにより、高度専門職業人として、多様化する教育課題に対応できる「実践的研究力」とリーダー的役割を果たし得る「研究的実践力」を備えた教員の養成をめざすことになった。このため大学院の授業と本研究とを連携して、学級経営や教科指導の実際を大学院生に観察・報告させ、その報告を共同研究会で協力校・本学科の教員が検討し、教員養成の一環としても、「自ら学ぶ力」を育む教育方法を解明することを課題とした。ちなみに堀川小学校の調査には大学院生三名が、四箇

2 自主的主体的に学習する子どもを育てる教育実践の実証的研究

田小学校の調査には大学院生一名が同行し、フィールド調査に協力した。

以下において、これらの研究成果の一部を報告する。